

令和5年度第3回林野庁入札等監視委員会 審議概要

開催日及び場所		令和5年12月20日(水曜日)林野庁入札室		
委員		佐々木 直彦(公認会計士、税理士) 菅 沼 真(弁護士) 井上 大輔(公認会計士、税理士)		
審議対象期間		令和5年7月1日～令和5年9月30日		
審議対象案件		33件	うち、1者応札案件 16件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 1件	
抽出案件		5件 (抽出率 15%)	うち、1者応札案件 3件 (抽出率 19%) 契約の相手方が公益社団法人等の案件 1件 (抽出率 1%)	
抽出案件内訳	工事	一般競争	1件 うち、1者応札案件 1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 1件	
		公募型指名競争	1件 うち、1者応札案件 1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 1件	
		工事希望型競争	1件 うち、1者応札案件 1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 1件	
		その他の指名競争	1件 うち、1者応札案件 1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 1件	
		随意契約	1件 うち、1者応札案件 1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 1件	
	業務	一般競争	1件 うち、1者応札案件 1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 1件	
		公募型競争	1件 うち、1者応札案件 1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 1件	
		簡易公募型競争	1件 うち、1者応札案件 1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 1件	
		その他の指名競争	1件 うち、1者応札案件 1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 1件	
		公募型プロポーザル	1件 うち、1者応札案件 1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 1件	
	随意契約	簡易公募型プロポーザル	1件 うち、1者応札案件 1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 1件	
		標準型プロポーザル	1件 うち、1者応札案件 1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 1件	
		その他の随意契約	1件 うち、1者応札案件 1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 1件	
	物品・役務等	一般競争	3件 うち、1者応札案件 2件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 1件	
		指名競争	1件 うち、1者応札案件 1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 1件	
		随意契約(企画競争・公募)	1件 うち、1者応札案件 1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 1件	
		随意契約(その他)	1件 うち、1者応札案件 1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 1件	
(特記事項) ・抽出の5件については、落札率の高かった契約等を抽出した。				
委員からの意見・質問、それに対する回答等		意見・質問 (詳細に記述すること。) (別紙のとおり)	回答等 (詳細に記述すること。) (別紙のとおり)	
委員会による意見の具申又は勧告の内容 [これらに対し部局長が講じた措置]		該当なし []	[]	

事務局:林野庁林政部林政課会計経理第1班

(注)公益社団法人等とは、公益社団法人又は公益財団法人(一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律第42条第1項に規定する特例社団法人又は特例財団法人を含む。)をいう。

	意見・質問	回 答
<p>委員からの意見 ・質問、それに対する回答等</p>	<p>抽出契約について 〔抽出番号1：令和5年度林業機械化センター展示棟の外壁塗装ほか改修工事〕</p> <p>・令和2年度から事務所棟、寄宿舎棟、研修棟で工事をされているようですが、今回、競争参加に応募された方は、毎回、応募されている方なのでしょうか、過去の状況も踏まえて教えていただけないでしょうか。</p> <p>・令和2年度から事務所棟、寄宿舎棟、研修棟の順で今回は展示棟ということですが、まとめて一括で工事をするわけにはいかないのでしょうか。</p> <p>・工事請負契約書を見ると契約日9月1日、工期が12月15日まで期間が4か月弱となっているようですが、この時期に改修工事をしているのは何か理由があるのでしょうか。</p> <p>〔抽出番号2：令和5年度国家森林資源データベースシステムの運用及びデータ整備等業務〕</p> <p>・1者入札のようですが、1者だった理由として何か思い浮かぶことはありますか。</p>	<p>・令和2年度から行っており、今回、参加されている業者については、令和2年度と4年度についてはA社が落札、令和3年度はB社が落札、今回の入札においてはA社が落札しております。もう1者についても令和2年度から入札に参加している状況です。</p> <p>・当森林技術総合研修所林業機械化センターについては年間を通じて研修しております。その関係から令和2年度からの5か年計画としており、一つの工期が3～4か月かかり一括に実施した場合に研修に影響がないよう分散して実施しています。</p> <p>・年度当初に実施した年もありましたが、研修の年間スケジュールを見ながら落付いた時期であること、場所が群馬県の北部にある積雪地帯のため足場を組むのも困難な状況等を鑑み、今年度はこの時期の実施としています。</p> <p>・この業務の内容がかなり特殊で、データベースを使うのでシステム関係を分かりながらも森林情報を各都道府県から森林簿を収集し、その内容の精査をしていただく、そ</p>

なると森林分野の知識がありながら且つシステムにも強い業者でないと入ってこられないで敷居がちょっと高いかな、と思っています。システム部分と森林分野を分けて発注できるかというと難しいので、こういう形で調達しています。

・入札の方法として競争入札は適切なのでしょうか。

・基本的に公平性を保つため、競争入札で毎年実施しています。

・同じ業者での契約がしばらく続くのであれば、複数年での契約とかのお考えはないでしょうか。

・システムの保守等は定型の業務になるので複数年契約している例もありますが、この契約は業務改善により毎年内容が変わる余地があり、また、今回はシステムがクラウド移行するので、その関係で仕様書の継ぎ足し、業務を追加していることもあり、単年度契約で毎年実施しているところです。

[抽出番号 3 : 令和 5 年度乗用自動中央調達第 3 号物件 : 乗用自動車 (661CC 以上 2,500CC 以下ステーションワゴン又は SUV タイプ 4WD) 34 台]

・入札執行調書を見ると、金額が安かった入札者よりも他の入札者の環境性能点で差が付いたようだが、この点について、どういったところで差が付くのか、教えていただきたい。

・自動車の環境性能につきましては、燃費値が基準となり、CO₂ の削減といった観点から燃費値を基に点数をつけております。グリーン購入法基本方針の基準を標準点といたしまして、それを上回る部分を加点する、といった形になっています。

・今年の入札は 3 者だったようですが、昨年も同じ 3 者ですか。

・他のメーカーさんは半導体の関係で調達が難しいということもあります。同じ入札者が 2 年間続いている結果となりました。

・入札参加者の方には環境性能点の計算式は公表されているのですか。

・

・審査要領及び機能証明書の様式に、計算式を含め入札者に示しております。

〔抽出番号4：令和5年度国有林野成長予測モデル整備事業〕

・競争参加者数が1者だけなのは、その理由は何か思い当たるところはありますか。

・森林の関係の分野とレーザー関係の解析データを扱っている会社が、ある程度限られてくるので、早期の公告を行っているが、事業者側としては他事業との関係で調整できず参加が難しかったのではないかと思うところです。

・この事業は毎年続くのでしょうか。

・今年度で一度、全体を作り終わる形になりますが、作ったものを改めて課題を分析し使えるものに落とす作業がでてくるので、来年度以降はそのような事業を予定しているところです。

・発注を早期にとか、いろいろと工夫されているようですが、契約日は9月27日ということで、早く募集をしていただいているんだと思いますが、もうちょっと早くすることで応札者が増える、ということはないでしょうか。

・1回目の公告は4月にしておりまして、今回の契約は再公告のものになります。1回目が不調に終わったため仕様を見直して再度公告期間も十分に考慮した結果となりました。

〔抽出番号5：令和5年度林野火災発生危険度予測システム構築業務〕

・企画競争方式で企画提案があったのが1者のみですが、気象関係に詳しい業者とか参加すると思うところで、昨年は何者の提案がありましたか。

・昨年も同様に1者です。

・なぜ他の業者は提案してこなかつたのでしょうか。

・アンケート調査を実施したところいずれも応札要件や公告期間は妥当であり、応募要領の内容も分かりにくくはない、業務量も適当といった回答がありました。そのうち1者は他事業の関係で人員の手配ができないので難しい、他の2者は気象に関する専門的な知識を有していないので難しい、との回答であった。単に既存のデータを活用するだけではなく、幅広い知見で様々なデータを組み合わせて、実用的な予測ができる手法をどれだけ具現化できるかが、この事業では一番大切になってきますので高い専門性を有している業者でないと難しいのではと感じております。

・令和6年度は同じような事業をする予定ですか。海外なんかも森林火災ありますし、非常に大事な（事業）だと思います。次年度は当初の事業も令和4年～6年度に3年かけてのようですから、3年まとめて実施するというのは考えられないでしょうか。

・今年度は精度を向上させたので、それが本当に有効か再度の検証と実用化に向けて、どのような普及をしていくのか、というところが重要で、その辺を合わせて令和6年度は実施したいと考えております。

また、特殊な契約となると一貫した業者と契約するのが一番いいと思いますので、複数年契約の考え方も今後は検討していきたいと考えております。

その他

・委員会としての意見はなし。

令和5年度 第3回林野庁入札等監視委員会

審議資料

資料1 令和5年度第2・四半期の契約締結状況について

- ・契約担当部署別・契約方式別契約一覧（総括表）

資料2 抽出契約について

（1）抽出契約の一覧表

（2）抽出契約に係る個別説明資料

工事、物品役務等関係

- ・抽出1 「令和5年度林業機械化センター展示棟の外壁塗装ほか改修工事」
- ・抽出2 「令和5年度国家森林資源データベースシステムの運用及びデータ整備等業務」
- ・抽出3 「令和5年度乗用自動車中央調達第3号物件：乗用自動車（661CC以上2,500CC以下ステーションワゴン又はSUVタイプ4WD）34台」
- ・抽出4 「令和5年度国有林野成長予測モデル整備事業」
- ・抽出5 「令和5年度林野火災発生危険度予測システム構築業務」

資料 1

令和 5 年度第 2 ・ 四半期の契約締結状況について

契約担当部署別・契約方式別契約一覧（総括表）

（対象：令和5年度第2・四半期分）

（単位：件、円）

契約担当部署	契約方式	工事関係		物品・役務等関係		合計	
		一般競争/指名競争	随意契約	一般競争/指名競争	随意契約	一般競争/指名競争	随意契約
林野庁本庁	件数			25	7	25	7
	金額			655,462,772	50,185,982	655,462,772	50,185,982
一般会計	件数			23	7	23	7
	金額			565,262,772	50,185,982	565,262,772	50,185,982
東日本大震災復興特別会計	件数			2		2	
	金額			90,200,000		90,200,000	
	件数						
	金額						
森林技術総合研修所 (一般会計)	件数	1				1	
	金額	9,130,000				9,130,000	
合計	件数	1		25	7	26	7
	金額	9,130,000		655,462,772	50,185,982	664,592,772	50,185,982

注 少額随意契約は含まない。

資料2

抽出契約について

抽出契約の一覧表(令和5年度第2・四半期分)

(一般競争契約)

(随意契約)

抽出番号	1	2	3	4	5
契約担当部署	森林技術総合研修所 (一般会計)	森林利用課 (一般会計)	業務課 (一般会計)	経営企画課 (一般会計)	研究指導課 (一般会計)
契約名	令和5年度林業機械化センター展示棟の外壁塗装ほか改修工事	令和5年度国家森林資源データベースシステムの運用及びデータ整備等業務	令和5年度乗用自動車中央調達第3号物件：乗用自動車（661cc以上2,500cc以下ステーションワゴン又はSUVタイプ4WD）34台	令和5年度国有林野成長予測モデル整備事業	令和5年度林野火災発生危険度予測システム構築業務
契約内容の概要	林業機械化センターの施設は、平成7年度から4年間かけて、事務所棟・寄宿舎棟・研修棟・展示棟・車庫・格納庫が整備された。建築後20年以上が経過し、老朽化や外壁に著しい劣化が見られなど、施設の維持修繕工事が必要となっている。なお、一部施設は平成19年度に外壁塗装を行っているが、塗装の劣化や木質部に腐食が見られるなど、他の施設と同様に外壁の改修が必要となるとともに、全国から研修生が集まる研修機関として、老朽化を原因とする事故など不測の事態が発生しないよう適切に管理する必要がある。このため、令和2年度から事務所棟・寄宿舎棟・研修棟の順で改修工事を実施し、令和5年度に展示棟の改修工事を行い、外壁部及び附属施設の木材部分等の塗装工事を実施した。	国家森林資源データベースシステムに、森林吸收量の算定に必要な森林情報を登録し、本システムを運用することで、効率的に森林吸收量の計算及び検証を実施する。	乗用自動車（661cc以上2,500cc以下ステーションワゴン又はSUVタイプ4WD）34台の調達 ①登録年度：令和5年度 ②ハンドル：右ハンドル ③タイプ：ステーションワゴン又はSUVタイプ ④変速機：AT又はCVT又はAGS ⑤駆動方式：四輪駆動 ⑥乗車定員：5名以上 ⑦使用燃料：無鉛レギュラーガソリン ⑧全長：4,500mm以上5,000mm未満 ⑨全幅：1,900mm未満 ⑩最低地上高：185mm以上 ⑪寒冷地仕様：26台	【事業目的】スマート林業実施の前提として必要となる現在及び将来の森林資源量並びに適当な伐期齢を的確に推測するため、昭和40年代に作成された国有林の現行の収穫予想表（樹種別に林齢毎の平均的な材積等を示した表）に替わり、新たな収穫予想表（「成長予測モデル」という。）を整備することを目指すものである。 【業務内容】①現行の収穫予想表の整理・分析 現行収穫予想表からのグルーピング ②現実林分データの把握 レーザ計測データ結果等による林分データの把握 ③成長予測モデルの検討・整備 ①・②を踏まえたモデルの整備 ④委員会による妥当性の検討	林野火災は、森林が瞬時に失われるだけでなく、人身や財産への被害等をもたらす恐れがあるため、その発生予防を強化することが必要不可欠である。 一方、面的な広がりをもつ森林においては、入林者等に対する一般的な注意喚起だけでは限界があり、危険な時期と場所を特定して重点的な警戒活動が可能となる手法を考案する必要がある。 林野火災の発生危険度に関しては、（国）森林研究・整備機構森林総合研究所が林床可燃物の含水率に着目し、日射量と降水量から判定する「林野火災発生危険日予測モデル」を発表しており、このモデルを活用して、林野火災の発生危険度予測の実用化に向け、林野火災発生危険度予測システムの構築（予測手法の確立）及び課題の抽出を行なうものである（P1～P10）
契約相手先	沼田土建株式会社	一般社団法人日本森林技術協会	三菱自動車工業株式会社	アジア航測株式会社	株式会社ウエーニューズ
予定価格	9,576,611	—	—	—	—
契約金額	9,130,000	13,750,000	111,626,852	9,240,000	4,400,000
落札率	95.3%	—	—	—	—
契約方式	一般競争契約	一般競争契約 (総合評価)	一般競争契約 (総合評価)	一般競争契約 (総合評価)	随意契約 (企画競争)
応募者等の数	3	1	3	1	1
契約年月日	令和5年9月1日	令和5年8月3日	令和5年9月21日	令和5年9月27日	令和5年7月26日
履行期限	令和5年12月15日	令和6年3月25日	令和6年3月22日	令和6年3月15日	令和6年2月13日
再就職の役員の数	—	1	—	—	—
備考					